

キャラクター名
榎木 瑛多 (さわらぎ・えいた)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ウロボロス		ワークス	ゼノスエージェントC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	死	衝動	自傷	初期侵食率	52	%
出自	安定した家庭	経験	平凡	邂逅	ヘンな生き物	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	3		0			3	行動値	7
感覚	1		0			1	(非装備時)	7
精神	3	1	0		1	5	戦闘移動	12
社会	1		0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報:ゼノス	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	RC	12r+1		182		全部込み込み
	RC	10r+1		48		2回目(オーバードーズ有)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
進化の書	
貴種の接吻	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
シャドウバディ	P	N		
火蜥蜴	P 友情	N 不安		
都築京香	P 誠意	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:サラマンダー	1	2	メジャー					
効果: C値-[lv](下限7)								
災厄の炎	1	4	メジャー		範囲(選択)			
効果: RC [lv×3]、範囲化、至近化								
クロスバースト	1	4	メジャー				80%	
効果: シンドローム [lv×4]。ダイス-2個								
プラズマカノン	1	4	メジャー				100%	
効果: RC [lv×5]。								
白:マシラのごとく	3	5+2	メジャー				80%	
効果: シンドローム [lv×10]。ダイス-個。シナリオ1回								
虚:ファイナルフラッシュ	1	20+2	メジャー				120%	
効果: リアクションのC値+1、[lv×5]。シーン1回								
黒:オーバードーズ	1	4+2	メジャー				100%	
効果: 組み合わせたエフェクトのlv+2。シナリオlv回								
灰:蝕命の魔眼	1	0+2	メジャー				120%/自傷	
効果: 組み合わせたエフェクトの侵食値を0に。その分のHPを失う。								
影:トランキリティ	1	3	メジャー					
効果: シャドウバディで取得。判定D+[lv+1]。								
紫:妨害排除	1	3+1	オート		単体			
効果: ダイス減少無効。シナリオlv回。								
傍らの影法師	1							
効果:								
炎の理	1							
効果:								
効果:								

榎木 瑛多 (さわらぎ・えいた)
モニタード

生来の性格として、困っている人(生き物)をそこそこ放っておけないお人よし。
世の中のあらゆる困っているモノを全て助けるほど正義感があるわけではないが、目についてしまったものは仕方ない、ほっといても寝覚めが悪いからなあ、とか言いながらつつい色んなものを助けてしまう。
割とあっさり決断し、割とあっさり不遇な目に遭い、けど意外と諦めなかつたりする。
「だってしょうがないじゃんか。目に入っちゃったんだからさ」

◆
極々普通の家庭に生まれ、極々普通に育った男子高校生。
人助けが高じて不遇な目といっても、カツアゲ現場に居合わせて不良にボコられるとか、つい捨て犬捨て猫を拾って飼い主が見つかるまで世話しちゃうとか、せいぜいそんなものだった。
しかし現在、彼はゼノスのリーダーであるプランナーに“要監視対象”<モニタード>としてその動向を監視されている。
どうしてこうなった。

事の発端は1年前くらい。いや、厳密に言えば彼の幼少期にまで遡る。

幼い頃、彼は一匹の不思議な生き物を拾った。
トカゲのようなヤモリのような、けれどそのどちらでもないことが明らか、黒い生き物。